

慰霊碑清掃・慰霊行事と表彰状贈呈式

東播支部は、7月30日酷暑の中、石田支部長以下28名の会員の参加を得て、青野ヶ原演習場の南廠舎近傍にある殉職隊員（姫路駐屯地隊員）の慰霊碑周りの清掃（除草）、演習場内の偽装材捨て場近傍にある殉職隊員（福知山駐屯地隊員）の清掃（除草）及び清掃後に献花を行い参加会員が順番に慰霊を行いました。



慰霊碑清掃風景

ここ数日は、雨も降らず酷暑と言える35度以上の晴天が続き、熱中症対策が不可欠の状態であることから、朝6時30分からの清掃としておりましたが、会員の皆様は涼しいうちにとの気持ちで、5時過ぎには作業を開始し、2か所ある慰霊碑の清掃及び献花・会員の慰霊を7時過ぎには終了することができました。特に、南廠舎近傍の慰霊においては、会員でお寺の住職をされている高倉理事役がお経を読み続ける中での慰霊を行うことができました。

終了後、今年の支部長表彰受賞対象者の入船理事役に石田支部長から表彰状の贈呈を行った。



入船 吉正 理事役



高倉理事役 読経による慰霊

最後に、7月31日付でご勇退される業務隊長 竹内2佐から「隊友会の皆様の献身的な活動により、毎年、慰霊碑周りの清掃・慰霊行事を行って頂けることに心から感謝します。」とご挨拶を頂き解散しました。



感謝の意を述べられる 竹内2佐



慰霊碑清掃を終えて参加者による集合写真

参加会員は次の清掃場所である海軍航空隊鶉野飛行場跡地に向けて移動を開始しました。鶉野飛行場跡地の整備については、移設前に祈念碑を建立されていた場所が「祈念の碑保存会」の土地となっており、毎年その跡地周辺の清掃（除草）を行っています。「祈念の碑保存会」の会員、ライオンズクラブの会員の方々、総勢10名程度で朝早くから除草作業を進めてくれていました。特に藤棚の除草は、参加者の高齢化の影響もあり、整備が進んでいない状況でありましたが、我々隊友会の会員が支援して約1時間で作業を終了することができました。

作業終了後に、現保存会の会長 上谷昭夫氏の弟である上谷哲朗氏から、会長が昨年末に脳梗塞となり2カ月くらい入院をされたこと、長期入院で歩けない状態になられたことをお聞きし、参加した隊友会員は愕然としました。昨年、鶉野飛行場跡地見学を計画した際に会長自らが見学コースを計画し、大満足の研修をさせて頂くことができたことを思い出し、早い回復を祈るばかりです。

上谷哲朗氏からは、今後も清掃活動は祈念の碑保存会の会員、ライオンズクラブの会員が行

っていくことになるが、高齢化が進んでいるため、満足な清掃ができない状態であるため、引き続きの隊友会東播支部の継続的なご支援をお願いしたい。また、10月7日(土)には祈年祭を行うとのお話もあり、参加して頂きたいとの要望もお聞きしました。

東播支部としては、今までに先人が行ってこられた事業の一つであり、元自衛官として戦争遺跡に携わることは名誉なことという気持ちも強く、要望がある間は積極的な支援をお約束し、移設後の祈念碑に移動して献花・慰霊行事を行って解散しました。



挨拶をされる石谷氏



藤棚と格闘する会員



海軍航空隊鶴野飛行場慰霊碑での慰霊行事



海軍航空隊鶴野飛行場慰霊碑前での集合写真